

国民平和大行進を実施

核兵器のない平和な世界を

「2024 原水爆禁止国民平和大行進」の出発式が6月7日、役場玄関前で行われました。

これは、核兵器廃絶を訴えながら被爆地広島市の平和記念公園を目指す取り組みで、前日に県内行進を終えた和歌山県から引継ぎを受け、約30人の参加者が横断幕やプラカードを手に出発しました。

原水爆禁止国民平和大行進三重県実行委員長の西尾比呂也さんは「核兵器のない世界を夢見ながら、これからも行進を続けていきたい」と話していました。



核兵器の禁止・廃絶を訴える参加者たち

Town topics
6 / 7

がん撲滅と医療従事者へのエールを込め

生命の駅伝でタスキをつなぐ

「第30回生命の駅伝」の出発式が5月24日、役場玄関前で行われました。

これはがん研究を支援するための募金活動と、がん研究の重要性の啓発を目的として毎年行われているものです。

出発に先立ち、役場玄関前で西田町長は町民から寄せられた募金を生命の駅伝実行委員会に手渡し、関係者を激励しました。ランナーたちは、がん研究支援、がん検診の受診推進を訴えながら、中継場所であるウミガメ公園まで走りました。



紀宝町役場を出発するランナーたち

Town topics
5 / 24



ウミガメを放流する参加者

世界ウミガメの日に合わせ

ウミガメの放流会を実施

ウミガメ公園は6月16日、井田海岸でウミガメの放流会を実施しました。

これは、世界ウミガメの日に合わせ、ウミガメ保護の啓発活動として行われたもので、定置網で混獲された6頭のアオウミガメを放流しました。

ウミガメ公園飼育員の伊藤柊也さんがウミガメの生態や放流の方法について説明した後、参加者たちがウミガメを浜に降ろすと、ウミガメはヒレで砂利をかき分けながらまっすぐ海に帰っていきました。

参加者たちは「持ち上げると思ったより動いて驚いた。」「元気に大きく育ってほしい。」と話していました。

Town topics
6 / 16

めはり寿司作りやコーヒーの淹れ方体験も

移住者交流会を開催

町は5月19日、大里多目的集会所で移住者交流会を開催しました。

これは移住者のコミュニティ形成による、地域への定着や地域活性化を図ることを目的に開催されたもので、今年度は3回を予定しており、今回が初回です。

参加者たちは自己紹介に続いて、移住前後の体験談や紀宝町での暮らしといった話題などについてそれぞれ意見交換を行った後、めはり寿司作りやコーヒーの淹れ方体験を行いました。

会場には約20人が訪れ、数人でグループを作り、和やかな雰囲気の中で歓談しながら交流会を楽しんでいました。



01. 歓談する参加者たち。
02. めはり寿司作り体験。



Town topics
5 / 19

食育の一環として

町内の畑でジャガイモを収穫体験

うどの幼稚園と鶴殿保育所の園児は5月22日、町内の畑においてジャガイモの収穫を行いました。

これは園児たちの食育の一環として、収穫の喜びを味わうことや農作物の成長の変化に気づくことなどを目的に行われているものです。

園児は茎の根元を持って引き抜き、土の中から出てくる大小さまざまなジャガイモに興味を引かれたり、土の中にいる虫たちに興味を引かれたりとさまざまな経験しながら、にぎやかに楽しんでいました。

収穫したジャガイモは、園児の家に持ち帰ったり、給食の食材として使用し、おいしく食べられました。



01・02. ジャガイモを掘る園児たち。



Town topics
5 / 22